

水稲V溝乾田直播栽培の生育状況（5月12日現在）

■ 耕種概要等

- ① 品 種 はれわたり
- ② 圃場造成 秋季耕起、代かき
- ③ 種子処理 種子消毒後に浸種、キヒゲン R2 フロアブル塗抹
- ④ 播種機 V溝播種機
- ⑤ 播種日 4月24日
- ⑥ 播種量 乾籾 10kg/10a 程度
- ⑦ 施肥量 窒素成分 10kg/10a 程度 (LP100)
- ⑧ 雑草防除 4月23日ラウンドアップマックスロード
 (畦畔際の雑草発生量が多かった部分のみ)
 5月12日ノミニー液剤

■ 生育状況

稲は出芽が揃ってきています。

4月23日に雑草の発生量が多かった外周部分にラウンドアップ剤を散布した後、新たに発生したノビエが畦畔際にみられています。また、圃場内のノビエは3葉期を超えています。



出芽が揃っている稲



3葉期を超えたノビエ

■ 栽培管理のポイント

4月から5月第2半旬までが高温傾向で推移したことから、稲の出芽や雑草の葉齢進展は例年よりも早まっています。除草剤ごとに雑草の殺草限界葉齢（例：は種後10日～ノビエ5葉期）や枯殺可能な雑草の種類が異なるので、圃

場内の雑草をよく確認してください。

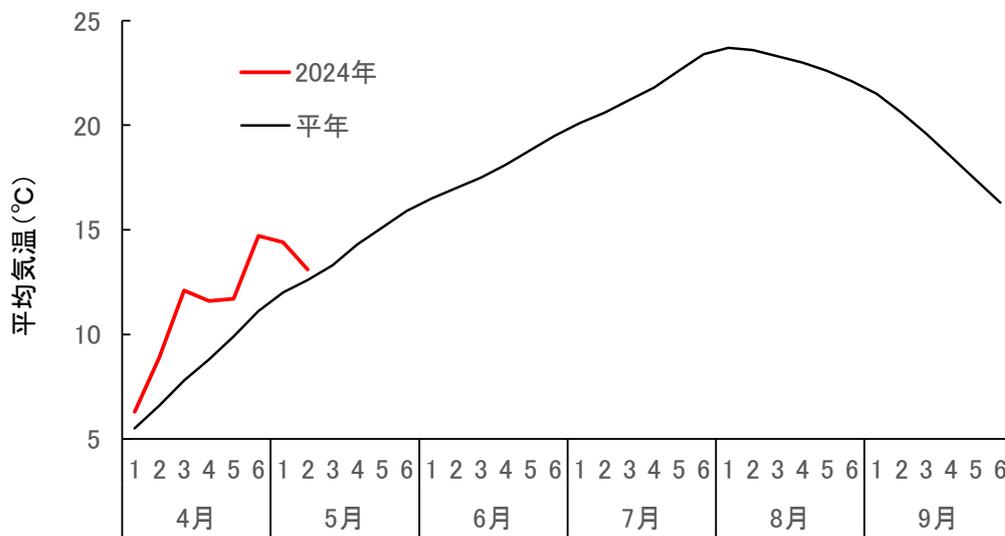


図 黒石アメダスの日平均気温（半旬別）

農林総合研究所のV溝乾田直播栽培圃場では、5月12日にノミニー液剤を圃場全面に散布しました。今後は、5月16日頃から入水を開始する予定です。



ノミニーを散布している様子



ノミニー液剤がかかったノビエ